

令和 4 年度 徳島森林管理署の重点施策

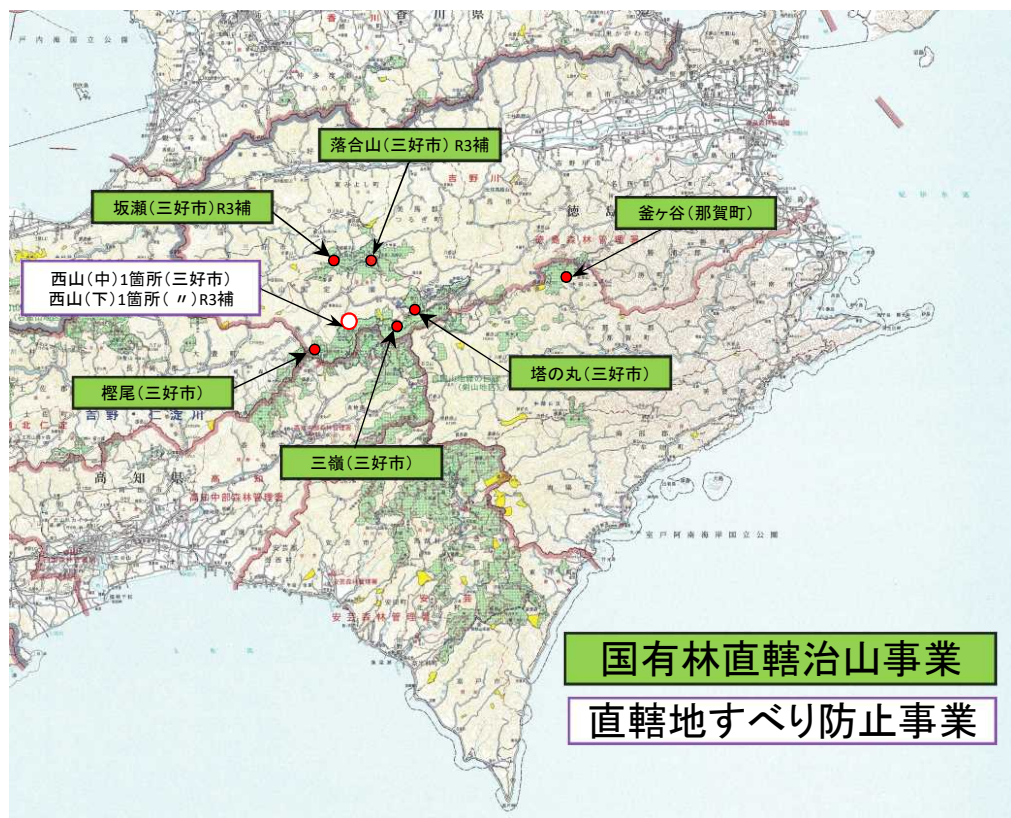
～地域の林業成長産業化に向けた取組～

**令和 4 年 4 月
徳島森林管理署**

1. 地域の安全・安心を守る山地防災力の強化

- 台風、豪雨等の災害から地域の安全・安心を守る治山事業を8箇所を実施。
(R3年度補正3箇所、2.7億円とR4年度当初計画 5箇所、5.2億円)
- 平成29年3月の三好市と徳島森林管理署の協定締結に続いて、平成31年3月18日に徳島県と四国森林管理局が、県と国による初めての「林野災害時等ドローン利活用協定」を締結。
この協定に基づき、台風・豪雨の災害に備え、徳島県と連携し、被害状況調査訓練やドローンを活用した山地災害調査、画像解析ソフトを使った迅速な復旧計画の作成等に取り組む。

■ 令和4年度 治山事業実施箇所図



■ ドローンによる被害状況調査(H30年7月三好市外)



■ ドローンを用いた徳島県及び関係市町村と被害状況調査訓練(R3年10月三好市井川)



■ 徳島県との林野災害時等ドローンの利活用協定(H31.3.18)



■ 阿津江(下)整備状況 R3年度治山コンクール受賞(R2年施行)



2. 生産・造林複数作業契約によるトータルコストの削減

- 多くの森林が収穫期を迎える中で、保育間伐【活用型】造林(下刈)の生産・造林複数作業種組合せ(三好市東祖谷深淵山)を実施し、トータルコストの削減に取り組む。

■複数作業契約とは

活用型造材作業



活用型運材作業



下刈作業



活用型伐倒

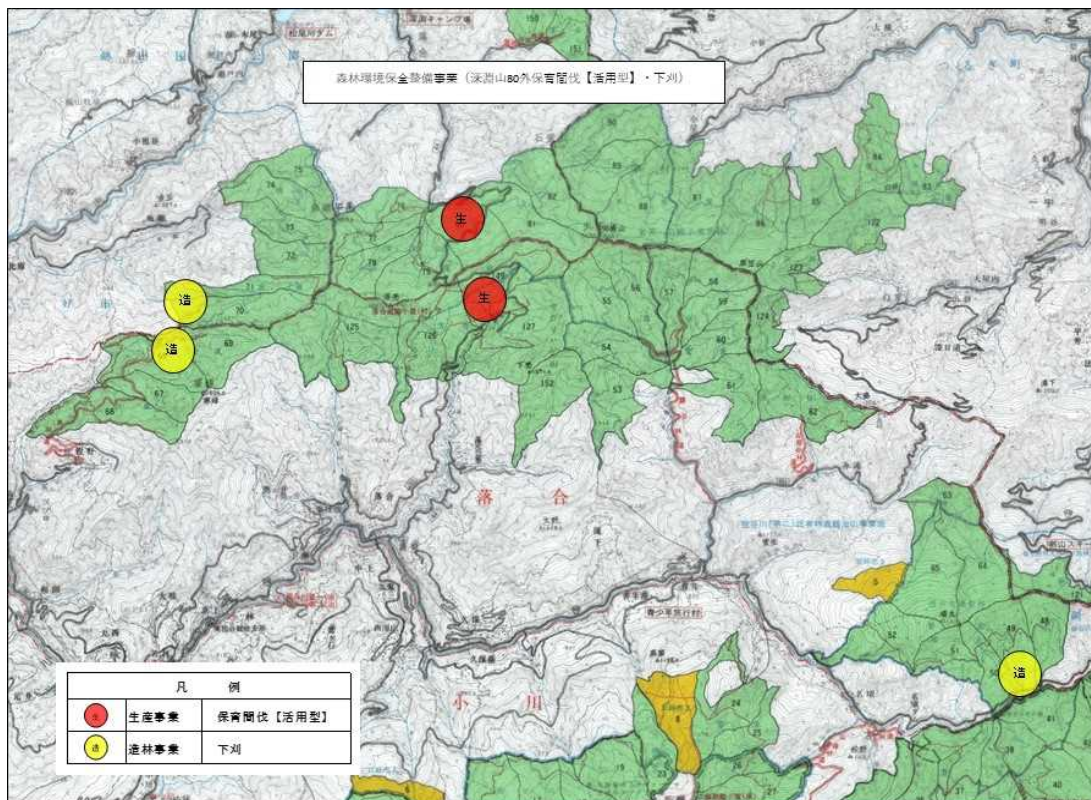


複数作業
の組合せ

保育間伐活用型と下刈作業の複数作業の組合せによる
トータルコストの削減

<保育間伐活用型と下刈作業複合契約>

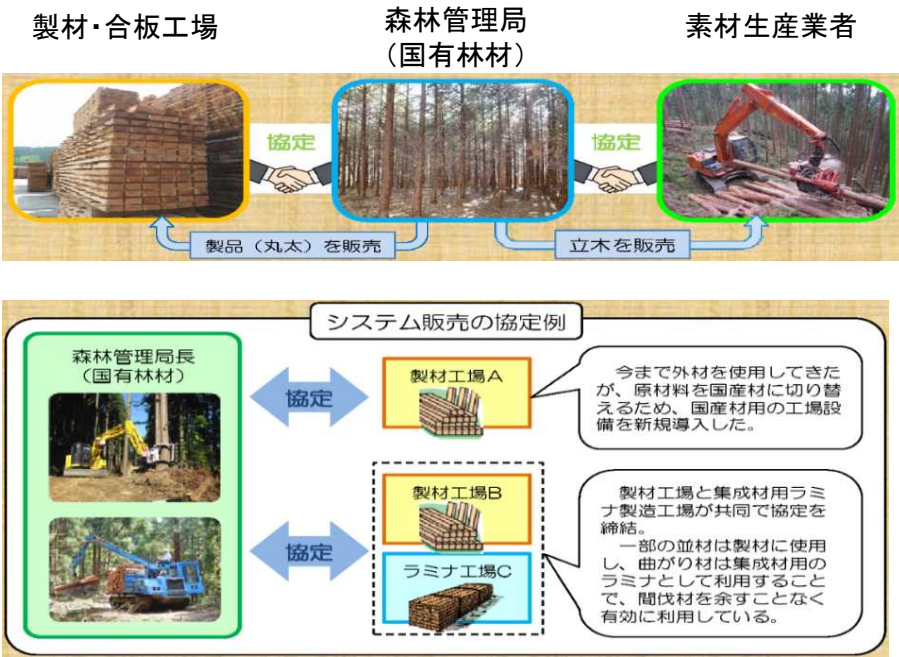
■令和4年度 複数作業契約導入地区



3. 国有林材2.58万m³を安定供給

- 立木販売の強化等により国有林材2.58万m³を安定供給。
R4年度:25.8千m³(製品 8.5千m³、立木17.3千m³)
- 立木販売を抜本強化 R4年度:17.3千m³
 - ①年間の立木販売予定情報の公表
 - ②立木販売と造林の混合契約の推進
 - ③立木のシステム販売の推進

■ 国有林材の安定供給システム販売の仕組み



※システム販売の対象は、製品（丸太）と立木。協定の相手方は、製材工場、木材加工業者、原木市場、素材生産業者等。
立木のシステム販売は、複数年(3年以内)の協定、搬出期間は売買契約から原則3年以内。

■ 徳島森林管理署の国有林材の供給量

単位：千m³

種別	H30	H31	R 2	R 3	R 4
供給量（製品換算）	6.8	4.5	6.1	5.8	25.8
製品販売	6.7	4.5	6.0	5.8	8.5
（内：システム販売）	6.6	4.4	5.8	5.6	8.4
立木販売	0.2	0.1	0.2	0.1	17.3

H30～R3年度は実績数量、R4年度は計画数量



木材生産現場
(三好市東祖谷塔の丸国有林)



現場で集積し公売
(塔の丸国有林)

4. 現地検討会等による民国連携と林業技術の普及

- 市町村林務担当者、民有林関係者等を対象に、民有林と国有林が一体となった路網整備・相互利用、協調施業、協調販売の担い手確保対策等に向けた課題解決に取り組む。
- 市町村林務担当者、民有林関係者等を対象に、新たな森林技術、低コスト林業等に関する「現地検討会」を開催し、得られた成果を民有林への普及に取り組む。

■ 令和4年度 現地検討会の開催計画

期 日	内 容	場 所
R4年 7月頃	ドローン自動飛行等研修会	徳島県内民有林
R4年 10月頃	森林調査の手法及び森林施業地紹介	徳島署管内国有林



森林作業道再利用現地検討会
森林技術(R3年11月)



ドローン研修座学
森林技術(R3年9月)



ドローン飛行研修
森林技術(R3年9月)

5. とくしま林業アカデミー、那賀高校森林クリエイイト科、池田高校三好校への森林環境教育、高校・大学生へ人材育成の支援

- 平成30年3月の徳島県、徳島県森林づくり推進機構及び四国森林管理局の人材育成連携協定に基づき、とくしま林業アカデミーに対し、学生の実地研修、講師派遣等の支援を実施。
具体的には、コンパス測量実習、ドローンの操作とその活用、一貫作業システムについて講義など実地研修を行う。
- 那賀高校森林クリエイイト科の生徒に対する森林環境教育、那賀地域林業担い手対策協議会における担い手対策の支援に取り組む。
- 池田高校三好校環境資源科のドローンの操作と利用に関する出前講座。
- 各森林・林業関係の高校、大学生へのインターンシップに取り組む。



とくしま林業アカデミーでのコンパス測量実習
(R3年6月)



那賀高校森林クリエイイト科への
インターンシップ
(R3年10月)

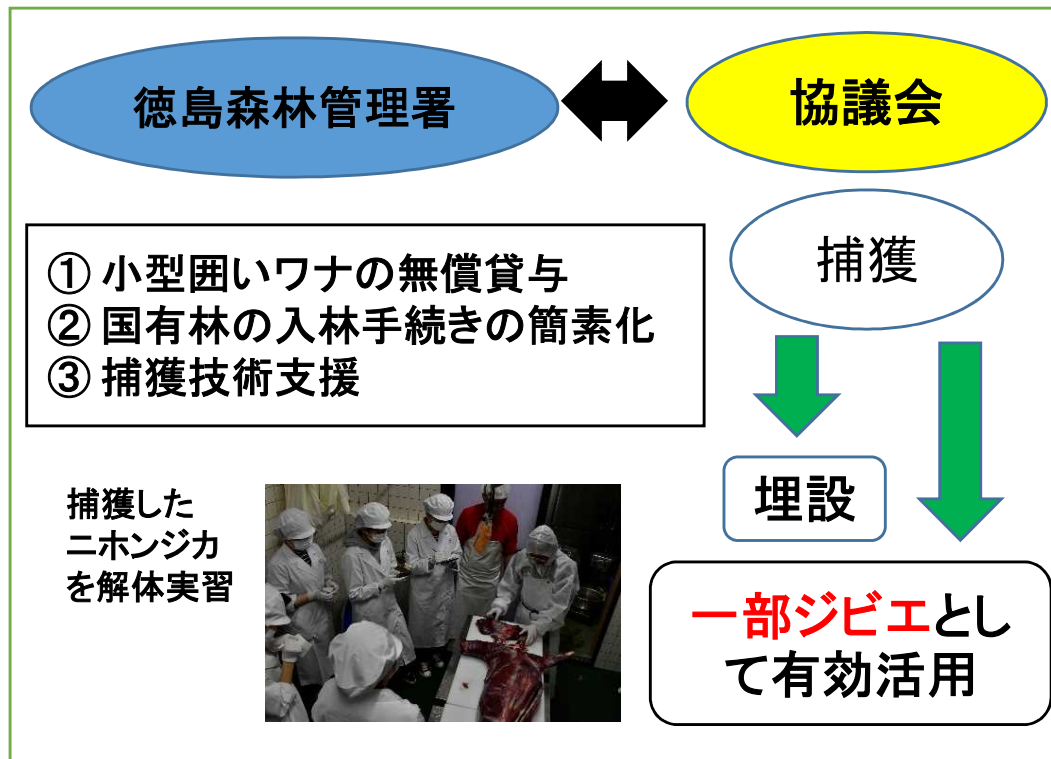


池田高校三好校のドローン講座
(R3年11月)

6. 地域との協定締結によるシカ被害対策の推進

- 平成29年5月に南つるぎ地域活性化協議会[※]と締結した「シカ被害対策推進協定」に基づきシカを捕獲。
ボランティア団体等と連携し、防鹿ネットの増設、既設ネットの保守・点検による植生保護の取組を実施し、効果的なシカ被害対策に取り組む。(令和3年度は9頭捕獲)
- 徳島文理大学と連携し、防鹿ネット設置と捕獲されたシカのジビエ料理の普及活動を推進。

■シカ被害対策推進協定



※南つるぎ地域活性化協議会は、剣山南西地域の環境保全と地域の活性化を目的に山に関わる団体等をメンバーとするボランティア団体



ボランティア団体との防鹿ネットの設置



職員によるシカ処理状況



小型囲いワナによる請負でのシカ捕獲



ジビエの有効利用活動に感謝状
(徳島文理大学生と)

7. 「祖谷のかずら橋シラクチカズラ資源確保プロジェクト」の推進

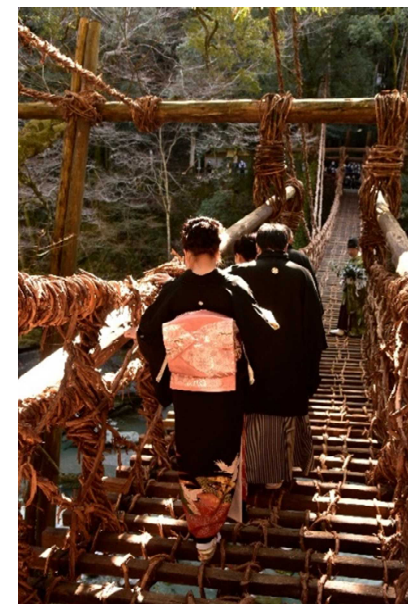
- 平成30年2月に徳島森林管理署、香川大学農学部、三好市が締結した「シラクチカズラ資源確保と活用推進連携協定」に基づき、三者が相互に連携し、地域の「木の文化」の象徴である祖谷のかずら橋、奥祖谷の二重かずら橋の架け替え資材であるシラクチカズラの資源確保とその果実の活用に向けた取組を展開する。
- 令和4年度は、①三好市国有林内の植栽地にシラクチカズラの苗木の植栽と令和元年に植栽した保育(下刈等)と植生調査 ②地元小・中学校生を対象とした「シラクチカズラセミナー」の開催。



シラクチカズラの生息調査
(R3年8月小島67苗畑)



架け替え用に採取されたシラクチカズラ
(R3年1月)



祖谷のかずら橋の渡り初め
(R3年2月)

8. 「日本の美しい森」剣山自然休養林の観光資源としての活用

- 剣山自然休養林は、全国で93箇所の「日本の美しい森～お薦め国有林」に選定されており、平成29～30年度に東屋・多言語看板・歩道を整備。
- 剣山自然休養林の観光資源としての活用を推進するため、関係機関、団体との連携を図り、観光資源としての利用に向けた各種活動に取り組む。



剣山自然休養林全景



剣山頂上のドローン画像



鎗戸シコクシラベ保護林看板
R3年度に看板を新調



剣山から見た次郎笈(じろうぎゅう)



冬山を楽しむ登山客



奥祖谷二重かずら橋

9. 国産材自給率50%に向けた森林環境教育の推進

- 令和7年度に木材自給率50%の目標達成を目指し、多くの国民に木材利用の重要性を理解して頂く活動として、身近な生活の中での木材利用を推進していくため次世代を担う子供たちを対象に、保護者や教育関係者のニーズを反映した森林環境教育プログラムによる森林環境教育に積極的に取り組む。



とくしま木づかいフェア(R元年10月)



木のおもちゃまつり(R元年12月)



応神児童館(R3年7月)



上八万児童館(R3年8月)



目佐児童館(R3年12月)



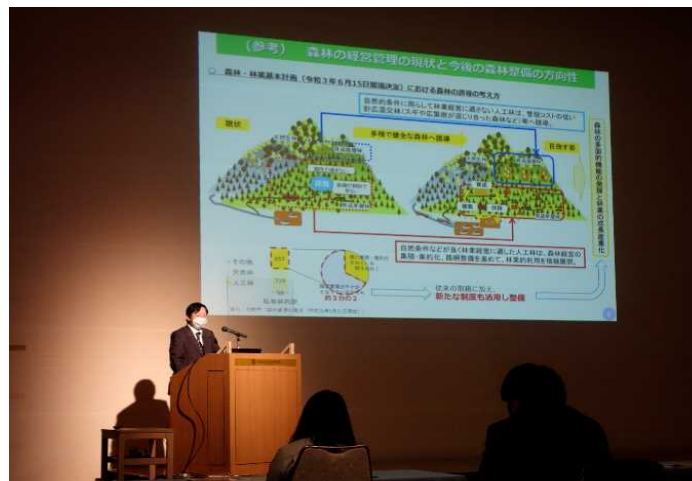
八万東保育所(R4年1月)

10. 徳島森林管理署の取組の積極的な情報発信

- 徳島森林管理署の各種取組・事業について、時期を逸することなく積極的な情報発信に取り組む。具体的には、四国森林管理局・徳島署HPへの掲載、市町村の広報誌への情報発信に取り組む。
- 森林経営管理制度等に関わる情報提供の機会や各種会議を活用し、市町村をはじめとする関係機関・団体等を直接訪問するなど、情報提供を行うとともに、地域からの国有林に対するニーズを把握する。
- 市町村への指導・助言を行える技術者を養成する事業に向けて、講師派遣を通じた支援等に取り組む。



署内の受付で木質化とPR



森林経営管理制度の会議に参加 (R3年12月)



三好市市長室に訪問(R3年10月)